

平成28年1月15日

第682号



# 水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



【諫早湾の日の出】

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

長崎県土地改良事業団体連合会

会 長	宮本 正則	
副 会 長	一瀬 政太	(波佐見町長)
副会長・専務理事	松尾 一郎	
理 事	宮本 明雄	(諫早市長)
理 事	古川隆三郎	(島原市長)
理 事	金澤秀三郎	(雲仙市長)
理 事	松本 政博	(南島原市長)
理 事	此見 武次	(杵岐土地改良区理事長)
理 事	小川 隆友	(田平土地改良区理事長)
理 事	道原 悟	(飯盛土地改良区理事長)
代 表 監 事	田中 隆一	(西海市長)
監 事	崎村 唯俊	(志佐川土地改良区理事長)
監 事	小林 茂俊	(鬼岳土地改良区理事長)

他職員一同





## 年頭挨拶

水土里ネット長崎  
会長 宮本 正則

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の年頭にあたり、会員並びに関係各位には、ご壮健で新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、皆様には平素より本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様もご承知のとおり、国の農業農村整備事業予算は、回復の兆しにあるものの、平成27年度当初予算は平成21年度当初予算の6割程度と依然として厳しい状況であり、十分回復しているとは言えません。

このような状況を踏まえて、水土里ネット長崎では、昨年7月に諫早市において、「長崎県農業農村整備事業推進大会」を開催しました。

推進大会には知事、県選出国會議員、県議會議員、市町、土地改良区など約750名の参加を頂き、国に対して、農業農村整備事業の強力な推進と事業当初予算の確保を求める大会決議を採択し、結束を固めたところです。

国の平成27年度農林水産省予算は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」及び新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づき、強い農林水産業と美しく活力ある農山漁村を実現するための施策を展開するとして、総額2兆3,091億円（対前年度比100.0%）の概算決定がなされています。農業農村整備事業については、3,820億円が計上され、農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための農地の大区画化・汎用化や畑地かんがい等の整備、農業水利施設の長寿命化の推進、地域の防災力向上を図るための防災・減災対策等が柱となっています。

一方、本県におきましては、厳しい条件の中、農業者の創意工夫と努力により、地域の特性を

生かした多様な農業が展開されていますが、農業生産性の向上を図るための農地の整備は、九州各県に比べ遅れているのが現状であります。さらに、高齢化、担い手の減少等により農業をとりまく環境は厳しい状況となっており、優良農地確保のための基盤整備事業の推進と農地の集積化が益々重要であります。

平成26年度から、4つの改革として、農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し、水田フル活用と米政策の見直し、日本型直接支払制度がスタートしました。会員の皆様にも、農地中間管理事業、多面的機能支払交付金等に取り組んで頂いているところであります。強い農業、食料自給力の向上、農業・農村の持続的発展のためには、さらなる拡大が必要であると考えます。

以上を踏まえまして、水土里ネット長崎では、生産基盤の整備とともに、農業用施設の適切な保全・管理を含めた農業農村整備事業における当初予算の確保等につきまして、今後も県を始めとして関係機関と連携し、積極的に国に対して要請活動を行い、事業実施地区の計画的な整備及び新規地区の推進を着実に進めて参りたいと思います。

最後になりましたが、農業農村整備事業の発展と皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。





## 新年に当たって

全国水土里ネット  
会長 二階 俊博

平成28年の年頭に当たり、全国の農業農村整備事業の推進にご尽力をいただいている皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年、当会の会長に就任しましてから、関係者の皆様のご支援を受けながら、これまで事業の推進に尽力して参りました。とりわけ、会長就任時には民主党政権時代に7割近く削減された状況であった予算を、まずは復活させようと、予算獲得に向け本気になって取り組んで参りました。各都道府県連合会からは、財源不足による事業の停滞に対し、悲鳴が上がっておりまして、一日も早く予算確保を訴える声が届いておりました。このため「闘う土地改良」を旗印に、真剣な取り組みを訴えて参りました。おかげさまで、昨年末には平成27年度補正予算と同28年度予算とで総額4,810億円を政府予算編成案において確保することができました。

私は、皆様の要望を実現するためには、いつまでも下を向いているのではなく、本会として具体的な行動を起こすことが重要である旨申し上げ、次期参議院選挙には候補者を打ち立てて、明確な意思を表明することが重要であると申しました。おかげさまで、農林水産省から進藤金日子君が現職課長を辞して立候補することとなりました。彼は秋田県の農村出身で、土地改良に熱い思いを持っており、是非、土地改良のために頑張りたいと積極的に活動してくれています。今、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損

害をもたらすのではないかと危惧されております。

さらには、昨年TPP交渉が大筋合意されたことを受けて、「総合的なTPP関連政策大綱」が決定されましたが、私は農業農村の振興に、支障を来さないように努力をしていかなければならないと思っております。

我々水土里ネット関係者としましては、このような現状をしっかりと受け止め、積極的に役割を果たしていくことが重要と考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様へアピールし、共感を得ていく努力も必要と考えます。幸いにして、農地を集積し、経営規模を拡大することにより、新たな農業経営を展開するべく全国各地で志の高い取り組みが見られるようになってきております。

土地改良は、農業農村の整備や振興を通じて国土を維持し、発展させることを目的としております。そのためには、自分達の生活は必ずや自らが守り発展させていくという気構えが不可欠です。それを、我々の先人達が時々の時代背景の中で繰り返し最大限努めてきたことだと思うのです。現代に生きる我々が手をこまねていることは決して許されることではありません。私は全国の土地改良関係者の皆様の協力をいただきながら、ひき続き予算の獲得や参議院選挙の勝利に向け真剣に闘う決意を新たにいたしました。

本日、輝かしい年の初めに当たり、本年が全国の皆様にとってよき年でありますように、ご健勝とご発展を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。



## 年頭のごあいさつ

全国水土里ネット会長会議顧問  
進藤 かねひこ

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

私は、昨春、新しく全国土地改良事業団体連合会会長に就任された二階俊博先生が提唱された「闘う土地改良」に込められた真義に感銘し、また触発され、政治活動の途を志す決意を固め、昭和61年に入省以来、29年間勤めてきた農林水産省を昨年の6月、中山間地域振興課長を最後に辞職しました。

その後、7月29日に都道府県土地改良事業団体連合会会長会議（全国水土里ネット会長会議）顧問を仰せつかり、全国各地を回り、その実情を聞かせて頂きました。移動した距離は約30万km、日本の農業水路の総延長約40万km（地球10周分）の4分の3に達しました。全国を巡回する中で、我が国の国土には人間の体でいうと動脈と静脈にあたる農業用水路・排水路が隅々まで張り巡らされ、肉体にあたる450万haの農地と一体になって国民の食料を支えており、多面的機能の適切な発揮を通じて、まさに日本の国土を支えていることを改めて実感した次第です。

そして、様々な課題も聞かせて頂きました。農業・農村の現場で聞く声は本当に切実で、心に響きました。過去・現在・将来とも国民の食料を支える農地と水、それを可能としている土地改良は「日本の命綱」ではありますが、その命綱が切れそうになっていることに強い危機感を禁じ得ません。

全国各地を回り始めてから約4か月経た時点で、私なりに全国の声を集約し、全国水土里ネット会長会議に報告しました。そして、その報告した内容を私に課せられた5つの使命として承り、その使命を果たすため全身全霊で取り組んでまい

ります。

1. 土地改良の予算確保に全力
2. 日本型直接支払制度の充実に全力
3. 災害に強い農山漁村づくりに全力
4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承に全力
5. 農業と農山漁村への国民の理解に全力

この「5つの全力」を通じて、「安全で安心な食」、「大切な農地と水」、「美しい農山漁村」、この3つを守り抜くことを約束します。

貴県の取り組みも十分勉強させて頂きながら、農業・農村の現場と行政・国政の場とのキャッチボールを主導し、自らがそのボールとなって粘り強く両方の「場」を往復できるように、果敢な中にも謙虚に自己を研鑽し、更に幅広く深く政治活動を前に進める覚悟です。

最後に、今年は、土地改良にとって剣ヶ峰と云ってよい程の大きな節目の年となります。私は、幅広い国民の皆さんのご理解と土地改良に関わる私たちの結束を源泉として、「闘う土地改良」の先頭に立って全力疾走することを改めてお誓いします。

本年が皆様お一人おひとりにとって良き年となることを祈念し、私の年頭のご挨拶と致します。





長崎県土地改良事業団体連合会並びに県下各地域の土地改良区の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様方には、本県農業の振興にご尽力いただいておりますことに心からお礼申し上げます。

昨年は、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の大筋合意など、わが国の農業にとって大きな転換期を迎えた年でありました。

本県にとって、農林業は安全・安心な農産物の安定供給はもとより、県土の有効活用、関連産業を含む就業の場や所得機会を創出する重要な基幹産業であり、現在、平成28年度からの農林業・農山村の目指す姿と施策の方向性を示した「新ながさき農林業・農山村活性化計画」の策定を進めているところです。

本計画では、「生産・流通・販売対策」を軸としたしっかり稼ぐ仕組みを構築し、農林業・農山村全体の所得向上を図ることで、人を呼び込み地域がにぎわう社会の実現を基本理念として掲げ、品目別戦略を再構築し、規模拡大等による収益性の向上や産出額の増大と低コスト化、差別化を進め全国トップの産地を目指していくとともに、新規就農者の確保・育成、雇用型農業を目指す経営体の育成や集落営農等の組織化を進めてまいります。また、中山間地域など産地の規模拡大が厳しい地域においても、直売所等を核とした新規・少量多品目野菜の産地化、観光分野との連携による地域内流通の拡大など稼ぐ力をつけるとともに、農山村の暮らしを支える環境整備のための治山対策等に取り組み、農家人口を増やし地域に人が住み続けられるように取り組んでまいります。

特に本県農林業・農山村の振興を図る上で、

農地の基盤整備は欠かせないものであると考えており、国の予算確保と新規地区の掘り起こしに傾注してまいります。併せて、農地中間管理事業や多面的機能支払制度の活用についても、農村地域の維持発展のため、その拡大に努めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、諫早湾干拓事業の開門問題につきましては、昨年9月の福岡高裁判決及び同11月の長崎地裁仮処分異議審決定のいずれの訴訟においても、開門請求等を認めないとする判断が下されました。しかしながら、国は、未だ開門方針を見直すまでには至っておりません。県としましては、地元へ深刻な影響・被害が生じる開門は決してあってはならないと考えており、今後とも地元関係者の皆様と連携をとりながら、適切に対応してまいりますので、引き続き、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、長崎県土地改良事業団体連合会の益々のご発展と、会員の皆様にとって飛躍の年となりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。





## 年頭のごあいさつ

長崎県農村整備課長  
松本 拓徳

新年明けましておめでとうございます。

長崎県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、農業農村整備事業の推進につきまして、ご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

離島や中山間地を多く抱え、農業を地域を支える基幹産業と位置づける本県においては、担い手の減少や高齢化などの構造的な課題に加え、販売価格の低迷やTPP問題など多くの課題を抱えております。

このため、県におきましては、現在、概ね10年先の本県の姿を見据えた「新たな県総合計画」並びに「新ながさき農林業・農山村活性化計画」の策定作業を進めているところであり、今後も戦略的な政策を盛り込み、積極的な農業施策を展開してまいりたいと考えております。

特に、地域間競争の時代となることが予想される中、今後も持続的な農業を展開し、競争力ある力強い農業経営を確立していくためには、農地の基盤整備が何よりも重要であると考えており、生産基盤の整備、農地中間管理事業を活用した農地集積対策、多面的機能支払制度等の推進により、農業・農山村の活性化を目指した取組を展開しているところです。

国におきましても、昨年3月に「新たな食料・農業・農村基本計画」が策定されております。この中でも、構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備や、担い手への農地集積・集約化などの取組みにより、農業の持続的な展開を図るとされており、大幅に削減されてきた国の農業農村整備事業予算も徐々にではありますが、復活の傾向にあります。前年度補正予算が小さかったことから、本県の平成27年度予算は非情に厳しい状況でありました。

このような中、農業農村整備事業予算の確保

については、長崎県土地改良事業団体連合会及び長崎県農業農村整備推進協議会の皆様により、昨年7月15日に諫早市において、「長崎県農業農村整備事業予算確保総決起大会」が開催され、その後、農林水産省等への要請活動など、農業農村整備事業費の総額確保について関係機関へ強く働きかけていただきました。

この結果、平成27年度補正予算では、農地の基盤整備関係予算が重点的に計上されたことから、今後、平成27年度不足分の確保のため、本県への重点的配分に取り組んでまいりたいと考えております。

また、国の平成28年度の当初予算につきましては、前年度比で、106.5%となり、徐々に回復傾向にありますが、削減前の平成21年度と比較しましても、依然7割にも満たない状況となっております。

本県の計画的な事業推進を図るため、平成29年度以降の予算については、当初予算でしっかり確保していただくよう、国へ強く働きかけていくこととしておりますが、予算確保に加え、新規事業実施地区の地元推進も重要となりますので、長崎県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には引き続き、予算の確保と共に新規実施地区の推進についてお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

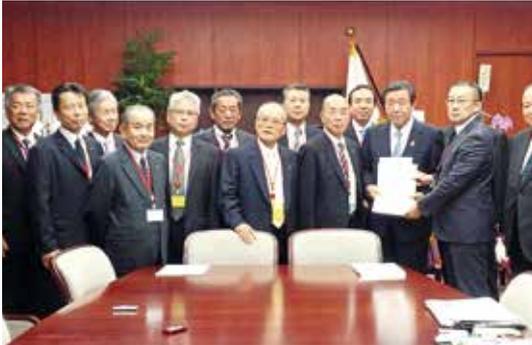
なお、近年、土地改良区においては、地域農業のリーダーとしての新しい役割が期待されております。会員の皆様におかれましては、適正な組織運営、保有農業施設等の適切な維持管理についても遺憾のないようよろしくお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとって飛躍の年となることを祈念し、新年のご挨拶といたします。

## 農林水産省へ政策提案・要請活動

九州農業農村整備事業推進協議会（江里口秀次会長：佐賀県小城市長）及び土地改良事業団体連合会九州協議会（田中源一会長：水土里ネット佐賀会長）は、11月26日（木）に農林水産省への合同政策提案活動を行いました。

同協議会より、30名が参加し、森山裕：農林水産大臣を含む農林水産省政務三役及び農村振興局長のほか幹部職員へ九州・沖縄地域の農業農村の現状を説明し、平成28年度農業農村整備事業予算の必要額の確保について要望しました。



森山裕：農林水産大臣への要請



西川公也：農林水産戦略調査会長への要請

## 平成28年度 本県の農業農村整備事業に関する国への要請活動 農林水産省、県選出国會議員へ政策提案

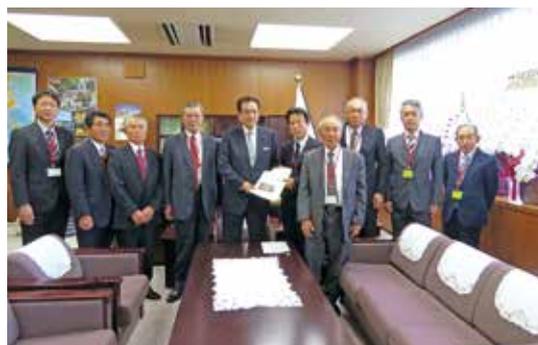
長崎県土地改良事業団体連合会（会長：宮本正則）と長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）及び・関係土地改良区・長崎県の総勢14名は、11月27日（金）に農林水産省と本県選出国會議員に対して平成28年度農業農村整備事業に対する要請活動を行いました。

### 【 要 請 内 容 】

1. 平成28年度農業農村整備事業概算要求の満額確保
2. 本県の農業農村整備事業当初予算での必要額の確保
3. TTP対策における農業農村整備事業予算については、既存の農林水産予算が削減・抑制されることなく、真に必要な基盤整備を円滑に実施できるよう、安定財源の確保を図ること。



末松広行：農水省農村振興局長への要請



加藤寛治：農林水産大臣政務官への要請

## 平成28年度 農業農村整備事業に対する長崎県知事、県議会議長、 自民党県連へ政策提案・要請活動

長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）及び長崎県土地改良事業団体連合会（会長：宮本正則）、自民党・活正の会県議団土地改良事業推進懇話会（会長：中島廣義）、各地域農業農村整備事業推進協議会は、総勢約40名で、12月14日（月）に知事への要請を行いました。その後、両協議会と県土連で県議会議長、自民党長崎県連へ政策提案・要請を行いました。

同協議会の宮本明雄会長は、「現在事業実施地区の計画的な整備を行うためには予算措置が不可欠であり、当初予算での必要額確保をお願いする。また、本県の農地の基盤整備率は、水田53%、畑地23%と九州全体と比較して低く農業生産力向上のためには、規模拡大と農地集積が急務である。今後の農村地域の生産基盤と生活環境の整備を計画的に推進していくためには、平成28年度概算要求の満額確保をお願いする。」と、基盤整備の重要性や効果を訴え協力を求めました。

濱本副知事からは、「今回要望の中身につきましては、私も同じ気持ちであります。国に対して予算確保についてしっかりと要望していきますので、皆さんと力を合わせて予算確保に取り組んでいければと思っている。」との力強い回答を頂きました。

また、田中県議会議長へも農業農村整備の窮状を訴え、農業農村整備事業予算の確保、農業農村基盤整備事業新規地区の強力な推進等について要請を行いました。田中議長からは、「本県は基盤整備の実施が必要であり、予算の確保が重要であるため、毎年、県と一緒に国へ重要事項として要請している。県議会としても基盤整備は重要であると認識しており、議会でも論議していきたい。」との回答を頂きました。さらに、自民党県連にも、同様に農業農村の現状を説明し、提案書を提出しました。

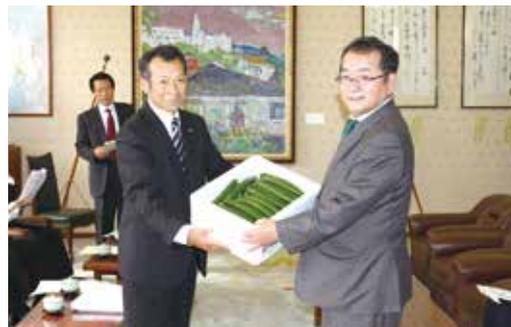
### 【 要 請 内 容 】

本県における農業生産力強化のための農地基盤整備の強力な推進に向けて

- 一、国の農業農村整備事業概算要求の満額確保
- 一、県の農業農村整備事業当初予算での必要額の確保
- 一、県の農業農村基盤整備事業新規地区の強力な推進
- 一、農業基盤整備事業に於ける県費補助率の現状堅持



濱本磨毅穂：長崎県副知事へ要請



協議会よりきゅうり（飯盛改良区で収穫）を贈呈



長崎県議会（田中議長）へ要請



自由民主党長崎県連へ要請

## 平成28年度農業農村整備事業概算要求説明会及び意見交換会

平成27年10月30日（金）に、標記説明会が農村振興局、九州農政局、県、市町、土地改良区、県土連の参加のもと開催されました。説明会では、長崎県を代表して前田健次：長崎県農林部政策監が挨拶を述べられた後、原川忠典：農水省農村振興局設計課計画調整室長が、「平成28年度農業農村整備事業関係予算は、平成27年度当初予算より1,000億円増額の4,588億円（対前年比128%）を要求している。予算確保に向けて地元の意見・要望をどんどん挙げて下さい。」との挨拶を述べられました。

説明会終了後、会場を移し、古川隆三郎：島原市長、一瀬政太：波佐見町長、山口文夫：川棚町長、西浩三：小値賀町長も出席され、「農業競争力強化」及び「国土強靱化」のための農業農村整備の推進をテーマに、意見交換会が行われました。



説明会の様子



意見交換会の様子

## 『農業農村整備の集い』開催 —農を守り、地方を創る予算の確保に向けて—

11月27日（金）、シェーンパッハ・サポー（東京都）において、全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの主催で「農業農村整備の集い」が開催されました。

「集い」には、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットなど800人余りの参加があり、長崎県からは、14名が参加しました。

二階俊博：全国水土里ネット会長が挨拶の中で、「闘う土地改良」には予算復活への覚悟と選挙に向けての決意が込められていると表明され、土地改良関係者の更なる結束を訴えられました。森山裕：農林水産大臣、稲田朋美：自民党政調会長は、農業農村整備関連予算の確保に努めることを強調した祝辞を述べられました。

基調報告に続き、末松広行：農水省農村振興局長より、「総合的なTTP関連対策大綱」についての説明がなされ、続いて、進藤かねひこ：都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より、全国各地の土地改良現場での現状に対する不安や悲痛の声が上がっていることについての状況報告がありました。その後、農業農村整備予算の確保と各政策の推進を求める要請書を全会一致で採択しました。最後に、ガンパロー三唱を参加者全員で声高らかに唱和して「集い」を閉会しました。



参加者全員によるガンパロー三唱

## 平成28年度 土地改良事業関係予算案 (28年度当初及び27年度補正)

- 平成28年度当初予算においては、農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業と合わせて、対前年度比106.5%の3,820億円を計上。
- 平成27年度補正予算においては990億円を計上。

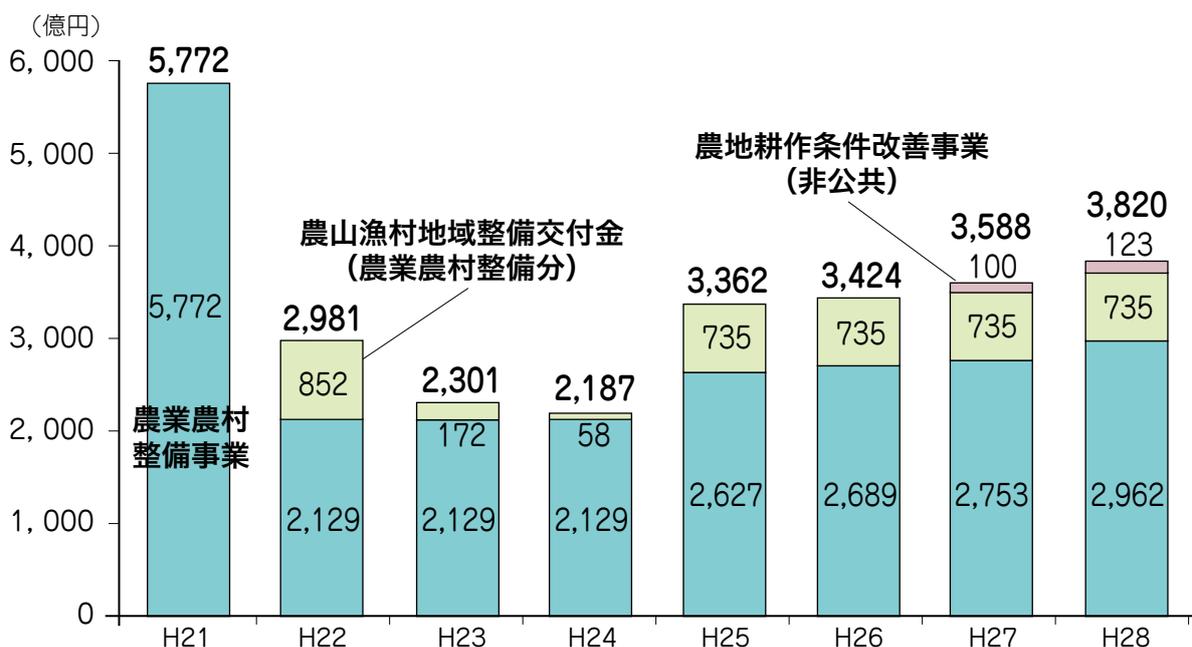
### 平成28年度 予算 (28年度当初概算決定及び27年補正予算)

単位：億円

	H27 予算額	H28 概算決定額 A	(27年度補正追加額)	
			H27 補正額 B	A+B
農業農村整備事業	2,753	2,962 (107.6%)	990	3,952
農山漁村地域整備交付金 (農業農村整備分)	735	735 (100.0%)	—	735
小 計	3,488	3,697	990	4,687
農地耕作条件改善事業 【非公共】	100	123 (122.7%)	—	123
計	3,588	3,820 (106.5%)	990	4,810 (134.1%)

〔下段 ( ) 書きは27年度予算額との比率〕

### 土地改良事業関係予算 (当初) の推移



注：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないことがある。

## 平成27年度 長崎県水土里情報連絡協議会総会

9月28日（月）、土地改良会館において、県、市町、土地改良区、農業関係団体が会員となる長崎県水土里情報連絡協議会の平成27年度総会が開催されました。

開会にあたり、一瀬会長（波佐見町長）から「今後も更なる利用団体の拡大と水土里情報システムの利便性向上に向けて努力したい」と挨拶があり、その後議事に入り、各議案とも原案どおり可決承認されました。



一瀬会長（波佐見町長）挨拶

### 議 題

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| 第一号議案 | 平成26年度事業報告の承認を求める件       |
| 第二号議案 | 平成27年度事業計画の承認を求める件       |
| 第三号議案 | 水土里情報連絡協議会規約改訂の承認を求める件   |
| 第四号議案 | 水土里情報連絡協議会事務規程改訂の承認を求める件 |

## 平成27年度 長崎県水土里情報連絡協議会説明会

9月28日（月）、長崎県水土里情報連絡協議会の総会終了後に同会場にて、水土里情報システムの利用推進を目的とした説明会が開催されました。

### 【説明会内容】

- 1) 水土里情報システム Ver.2 の概要
- 2) 水土里情報システム活用事例デモンストレーション
- 3) タブレット端末を利用した現地調査システムの紹介
- 4) 水土里情報システムオプションシステムの紹介



説明会の様子

## 第200回 理事会

9月28日（月）、土地改良会館において、宮本会長他理事・代表監事・顧問の計16名の出席により開催しました。

宮本会長は、「今回の理事会は記念すべき200回ということで、設立から約60年になりますが、これも皆様会員を始め関係機関のご支援、ご協力の賜物と感謝いたします」と挨拶されました。その後議事に移り、各議案とも満場一致で可決されました。



### 議 題

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 第一号議案 | 平成26年度事業報告、決算報告書の承認を求める件について      |
| 第二号議案 | 就業規程の改訂について                       |
| 第三号議案 | 長崎県土地改良事業団体連合会個人情報保護に関する規程の改訂について |

## 平成27年度 市町村・土地改良区等役職員研修会

12月8日から9日にかけて、土地改良会館において、県内の市町及び土地改良区役職員等 144 名参加のもと、平成27年度市町村・土地改良区等役職員研修会が開催されました。

開会にあたり、主催者を代表して宮本正則：水土里ネット長崎会長より挨拶があり、松本信助：長崎県農林部次長より来賓挨拶をいただきました。

研修会に先立って、「第8回長崎の農業・農村写真コンテスト」の表彰式が執り行われました。

続いて、松本拓徳：長崎県農村整備課長より長崎県の農業農村整備事業についての説明がなされ、その後研修課題に移り、参加された方々は熱心に耳を傾けて講義を受けていました。

### 研修課題

#### 1日目

##### 1) 非補助の融資制度（資金融資の事務手続き）について

講師：日本政策金融公庫 長崎支店  
農業食品課 杉山美紀  
田中佑果

##### 2) 土地改良区の検査状況、不詳事件の未然防止について

講師：長崎県 農村整備課 主任主事 四辻克樹  
長崎県 農政課 総括課長補佐 山田譲二

##### 3) マイナンバー制度について

講師：本会 総務部長 本川義一

##### 4) 農業農村整備事業の今後の展開方向について

講師：九州農政局 整備部 設計課  
課長 登り俊也

##### 5) 農業農村整備予算の確保について

講師：本会 専務理事 松尾一郎

#### 2日目

##### 1) 多面的機能支払交付金について

講師：長崎県農地保全推進協議会  
事務局長 中村重光

##### 2) ストックマネジメントについて

講師：長崎県 農村整備課 主任技師 濱野幸一

##### 3) 小水力等再生可能エネルギーについて

講師：長崎県 農村整備課 係長 田崎裕悟  
本会 技術課 補佐 松山芳英



研修会の様子



【第8回長崎の農業・農村写真コンテスト表彰式】  
長崎県知事賞：川嶋英紗子  
水土里ネット長崎会長賞：山口政勝  
農業部門優秀賞：井上克幸  
農村景観部門優秀賞：松尾安子  
土地改良施設部門優秀賞：江口徳郎

## 平成27年度 第2回監事会

12月11日(金)、土地改良会館において、田中隆一代表監事、崎村唯俊監事、小林茂俊監事出席のもと本年度の第2回監事会が開催されました。

議事内容は以下のとおりで、議案は原案どおり可決承認されました。

また、監査については、厳正な監査の結果、適正に処理されていることが報告されました。

### 議事

第1号議案：平成27年度中間監査に関する件について



## 第38回 全国土地改良大会青森大会開催



二階俊博：全国水土里ネット会長の挨拶



本県参加者：式典会場“マエダアリーナ”にて

10月15日（木）、青森県青森市の新青森県総合運動公園「マエダアリーナ」において、全国から土地改良関係者約3,500名が参加し、『土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く』を大会テーマに第38回全国土地改良大会・青森大会が開催されました。本県からは、土地改良区・市・県・本会から38名が参加しました。

本大会は「我が国の食料自給率の向上と食料安定供給の確保」「農業・農村の多面的機能の発揮」「農業の持続的発展と農村の振興」等の必要性・重要性について広く国民にアピールするとともに、新たな農業の展開方向に即して、改めて農業農村整備の使命を再認識し、我々関係者が総力を挙げて我が国の農業・農村をさらに発展させることを目的に開催されました。

式典では、開催県の野上憲幸：水土里ネット青森会長の挨拶で始まり、主催者を代表して二階俊博：全国水土里ネット会長が、「農業・農村振興の重要性、平成28年度農業農村整備事業関係予算確保に向けての取組について、我々は今後一層努力し闘い続けて参りたい」と挨拶を述べられました。引き続き三村申吾：青森県知事から歓迎の挨拶、伊東良孝：農林水産副大臣から祝辞が述べられました。

続いて、土地改良事業功績者表彰が執り行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名が表彰されました。

本県からは、松本良明：前山田原土地改良区理事長が農村振興局長表彰、林田俊秀：三会原土地改良区理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

表彰式終了後には、室本隆司：農林水産省農村振興局次長より「土地改良は国土づくり～青森の土地改良に見る国づくりの歴史」について基調講演が行われた後、進藤金日子：全国水土里ネット会長会議顧問を聞き手に、岩手県、宮城県、福島県の各水土里ネットの専務から、「東日本大震災、その後の新たな芽生え」と題し、基調報告が行われました。

その後、「青森県内土地改良事業優良事例地区紹介」として、水土里ネット北沢、水土里ネットおにならより報告・紹介がありました。

最後に青森県営農業大学の生徒により大会宣言が行われ、次回開催県の水土里ネット石川へ大会旗が引継がれ、本大会は盛会のうちに閉会しました。



農村振興局長表彰を受賞された  
松本前理事長（山田原土地改良区）



全土連会長表彰を受賞された  
林田理事長（三会原土地改良区）

## 第8回 長崎の農業・農村写真コンテスト入賞・入選作品決定

10月5日(月)、土地改良会館において、5名の審査員により「第8回長崎の農業・農村写真コンテスト」の審査会が行われました。

今回の写真コンテストは、「農業部門、農村景観部門、土地改良施設部門」の3部門で、4月1日から8月15日までの期間で募集しました。

審査会では応募総数201点の中から、長崎県知事賞に川嶋芙紗子さんの「収穫の日」、水土里ネット長崎会長賞に山口政勝さんの「田植え・終えて」、その他に部門優秀賞3点、入選10点が選出されました。



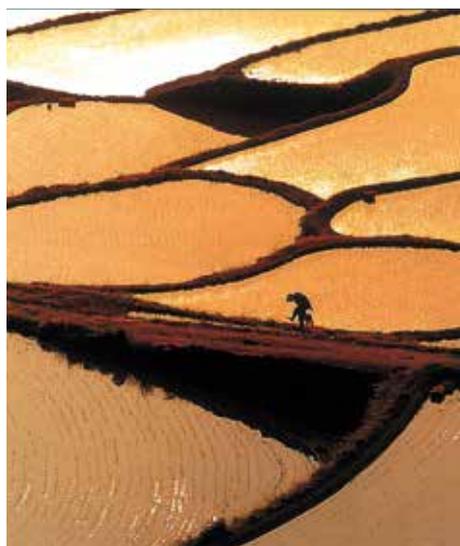
## 入賞作品



### 長崎県知事賞

「収穫の日」

川嶋芙紗子（大村市）



### 水土里ネット長崎会長賞

「田植え・終えて」

山口政勝（長崎市）



### 農業部門優秀賞

「段々畑の収穫風景」

井上克幸（雲仙市）



### 農村景観部門優秀賞

「コレ、ナーニ？」

松尾安子（諫早市）



### 土地改良施設部門優秀賞

「透明の秋」

江口徳郎（大村市）

# 入 選 作 品

## 農 業 部 門



「棚田の音色」  
萩尾健（佐世保市）



「棚田まつりの朝」  
楠本ひさ子（長崎市）



「まだまだ現役」  
達利則（長崎市）



「名コンビ」  
矢津充浩（佐世保市）

## 農 村 景 観 部 門



「早朝のひまわり畑」  
淵上久男（諫早市）



「わらかけ茶」  
山口八郎（諫早市）



「美しい茶畑」  
堀脇秀雄（長崎市）



「佐世保木場浮立」  
小川数馬（佐世保市）

## 土 地 改 良 施 設 部 門



「花の命は水とともに」  
中村重光（長崎市）



「循環」  
嶋里卓見（五島市）



入賞・入選作品は、農業関係イベント会場にて展示致します。

また、本会ホームページにも掲載しております。

ホームページ

<http://ntr.or.jp>

## 会議と行事

12月	3日	換地関係異議紛争処理対策検討会(熊本市)
	8日~9日	市町村・土地改良区等役職員研修会(長崎市：土地改良会館)
	10日	第4回換地システム開発全国会議(東京都)
	11日	平成27年度第2回監事会(長崎市：土地改良会館)
	14日	県知事・県議会・自民党県連へ要請活動(長崎市)
	18日	水土里ネット長崎職員研修会(長崎市：土地改良会館)
	19日	水土里ネット長崎技術発表会(長崎市：土地改良会館)
	19日	農業会議第9回常任会議員会議・総会(長崎市)
	28日	仕事納め式
1月	4日	仕事始め式
	13日	農業基盤整備資金(非補助)融資拡大連絡会議(長崎市：土地改良会館)
	14日	九州協議会総務担当研究会(大分市)
	28日	平成27年度全国標準積算システム利用団体連絡会(東京都)
	28日	農家負担金軽減支援対策事業担当研究会(東京都)
2月	5日	第201回理事会(長崎市：土地改良会館)
	9日	九州・沖縄ブロック交換分合実務研修会(宮崎市)
	11日	福江川河川検討委員会(五島市)
	12日	農業農村の振興施策に関する意見交換会(長崎市)
	15日	災害復旧技術向上のための講習(長崎市：土地改良会館)
	17日	換地計画実務研修会(長崎市：土地改良会館)
	18日	第2回補助版標準積算システム運用管理者説明会(東京都)
	24日	第60回通常総会(長崎市：市町村会館)
	25日	九州協議会会長・事務責任者会議(佐賀市)

表紙写真 【諫早湾の日の出】 写真提供：江口徳郎様より



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102  
 総務部：総務課・会員支援課・事業推進室 (E-mail：n.soumu.3101@ntr.or.jp)  
 技術部：技術課・換地課 (E-mail：nagasaki.setukei@ntr.or.jp)

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・☒ sisho02@ntr.or.jp  
 島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・☒ sisho03@ntr.or.jp  
 五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・☒ sisho05@ntr.or.jp  
 壱岐支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・☒ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ☒ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】